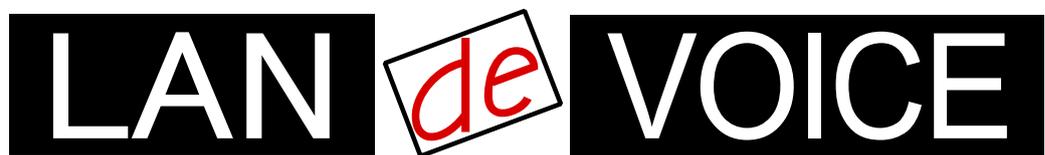


# 取扱説明書



*Network Telephony Adaptor*

端末管理・呼制御サーバ

**LANdeVOICE CCS401**

*A2 co,ltd.*

LdV4-CCS401-2.4-2102

# 安全上のご注意

ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入頂いた製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

お客様または第三者が被った下記すべての損害について、当社及び販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。

- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービス及び、技術サポート等を行っておりません。

## 使用している表示と絵記号の意味

 <b>警告</b>	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
 <b>注意</b>	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性のあることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		

お守り頂く内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」内容です。

 **警告** 火災・感電・けがを防ぐために

 感電注意

 発火注意

 禁止	<p>電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。</p>
 禁止	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。また、AC100V以外での使用はしないでください。異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。</p>
 禁止	<p>本製品(付属品含む)の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。</p>
 禁止	<p>本製品(付属品含む)に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。また、電源が入っていても、故障の原因となります。</p>
 強制指示	<p>ACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。差込が不完全のまま使用すると、ショートしたりし、発熱や発煙、火災の原因となります。抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。コネクタ部分に上下がある場合は、必ず正しい向きで差し込んでください。間違った向きのまま無理に差し込むと、ACアダプタや本製品が破損し、発煙や火災の原因となります。</p>
 強制指示	<p>ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。</p>
 強制指示	<p>次の場合は使用を中止してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 液体や異物などが内部に入ってしまったとき</li> <li>・ 煙、異臭、異音が出たとき</li> </ul>
 強制指示	<p>アース線を接続してご使用ください。アース線を接続しないと感電や動作不良の原因となります。</p>
 強制指示	<p>取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障の原因となります。</p>

 **注意**

 **落雷注意**

 禁止	雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。
---	---

 **感電注意**

 **発火注意**

 禁止	本製品(付属品含む)は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ</li> <li>・ 急激な温度変化のあるところ(結露するようなどころ)</li> <li>・ 油煙、ほこりの多いところ</li> <li>・ 火気の周辺又は熱気のこもるところ</li> <li>・ じゅうたん等の保温性、保湿性の高いところ</li> <li>・ 風通しの悪いところ</li> <li>・ 漏電のあるところ</li> <li>・ 強い磁界が発生するところ</li> <li>・ 静電気が発生するところ</li> <li>・ 直射日光があたるところ</li> <li>・ 暖房器具の近くなどの高温になるところ</li> <li>・ 水平でない場所や振動の激しいところ</li> <li>・ 腐食ガスが発生するところ</li> </ul>
 禁止	他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置いたりしないでください。故障の原因となります。
 禁止	強い衝撃を与えないでください。 本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えたりしてしまうと、故障の原因となります。
 強制指示	本製品(付属品含む)のほこりなどは定期的にとってください。 湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。

 けが注意

 強制指示	お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 本製品(付属品含む)の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。 小さなお子様をご利用になる場合は、製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
---	---

設置について

以下の場合には、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」をご使用頂 けます。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本製品を壁掛け設置する場合</li> <li>・ 本製品を単独で平置きする際に固定したい場合</li> </ul>	
 強制指示	以下の場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用してくだ さい。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本製品を平置き段積みする場合                      ※本キットを使用せずに本製品を段積みして使用すると、製品内部                      からの放熱ができなくなり、発熱による故障の原因となります。</li> </ul>

その他

 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品(付属品含む)を拭かないでく ださい。 汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれ いな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭か ないでください。
 強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品(付属品含む)に触れる前にドアノ ブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くよ うにしてください。人体からの静電気は、本製品(付属品含む)を破損また はデータの消失、破損させる恐れがあります。
 強制指示	本製品(付属品含む)に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める 手順(取扱説明書など)に従ってください。

# はじめに

このたびは、LANdeVOICE CCS401(本製品)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品は、通話による音声のやり取りをネットワーク(IPネットワーク)を介して行う装置です。

本書は、本製品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず本書をよくお読み頂き、安全に使用でき、かつ本来の性能を十分に発揮できますよう、正しくお取り扱いください。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧頂けるように、大切に保管してください。

本製品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

## 本書の表記について

 注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
 メモ	この表示は、本製品を十分にご活用頂くための補足事項や参考となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 10 は米国 Microsoft 社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツ一の登録商標です。

---

# 目次

---

安全上のご注意	2
はじめに	6
目次	7
<b>第 1 章 お使いになる前にお読みください</b>	<b>8</b>
CCS401 の機能	9
CCS401 での管理について	11
付属品の確認	12
各部の名称と働き	12
LED 表示	14
<b>第 2 章 設置と接続</b>	<b>15</b>
設置する	16
電源を入れる	16
LAN ケーブルを接続する	16
<b>第 3 章 LANdeVOICE 端末へ CCS401 を登録</b>	<b>17</b>
LANdeVOICE 端末が 4 シリーズの場合	18
LANdeVOICE 端末が 2、3 シリーズの場合	19
<b>第 4 章 CCS401 の設定方法</b>	<b>20</b>
設定画面ログイン方法	21
設定画面について	25
設定画面のメニューについて	26
初期化の方法	27
設定の流れ	28
<b>第 5 章 設定ファイル一覧</b>	<b>29</b>
基本設定ファイル(netcnfg.ini)	30
システム設定ファイル(syscnfg.ini)	32
<b>第 6 章 端末管理システム</b>	<b>34</b>
端末管理システム Web 画面ログイン方法	35
LANdeVOICE 端末情報の登録、閲覧、編集	37
端末状態確認表示	42
CSV 入力による設定	45
<b>第 7 章 運用例</b>	<b>50</b>
基本的な運用	51
代表電話番号機能	54
<b>第 8 章 製品仕様</b>	<b>56</b>
<b>付録</b>	<b>58</b>
付録 1 CPS8 からリプレースする場合について	59
付録 2 便利な電話番号登録と記述方法	60
付録 3 ファイル送信による設定について	61
付録 4 syscnfg.ini のパラメータ「CIRT」の動作	65
付録 5 修理について	65
付録 6 パソコンのネットワーク設定について	66

---

# 第1章 お使いになる前にお読みください

---

この章では、CCS401 の各部の名称と働きなどについて説明します。

- CCS401 の機能
- CCS401 での管理について
- 付属品の確認
- 各部の名称と働き
  - 1 前面
  - 2 背面と上面
- LED表示

## CCS401 の機能

CCS401 は「端末管理システム」を搭載したサーバで、下記の機能を持っています。

### 1 端末管理機能

下記のような端末管理システムのWeb画面にて、複数端末の電話番号管理や、通信状態等の確認をすることができます。

端末状態確認

LANdeVOICE端末および各サーバの通信状態を確認できます

各サーバのステータス

	通信ステータス	IPアドレス	ポート番号
CCS401	<span style="color: green;">●</span> 正常	192.168.1.93	4445

---

検索対象列: 電話番号 ▼      検索ワード:  Q検索

正常端末を表示する       異常端末を表示する

検索結果    表示件数: 4件中 1-4件

接続/切断日時       動的ポート番号

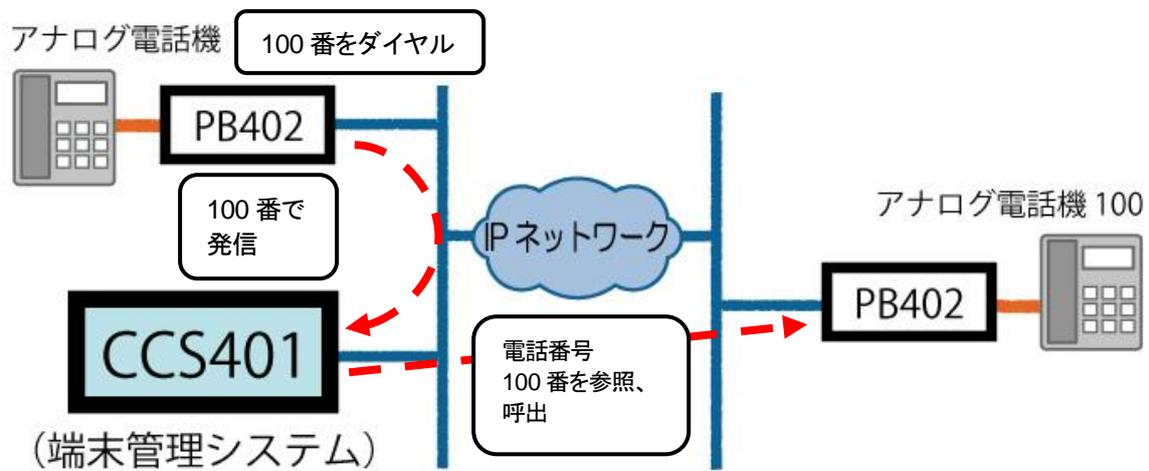
通信ステータス	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1 <span style="color: orange;">●</span> 通話中	100	0	192.168.1.90	4445	営業1課 PBSP 電話機
2 <span style="color: orange;">●</span> 通話中	200	0	192.168.1.94	4445	営業2課 PB402 電話機
3 <span style="color: green;">●</span> 待機中	300	0	192.168.1.95	4445	第1会議室 SP401 スピーカ
4 <span style="color: red;">●</span> 異常	400	0	192.168.1.96	4446	第2会議室 KA02 スピーカ

最初のページへ
一つ前へ
1
一つ次へ
最後のページへ

ページを再読み込み
端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

## 2 呼制御機能

発信元端末に発信先端末のIPアドレスやポート番号を登録しなくても、CCS401 経由で呼び出すことができます。また、設定により複数端末の一斉呼出等も可能です。



## CCS401 での管理について

CCS401 でLANdeVOICE端末の管理を行うために必要な事柄や前提について説明します。

- 1 CCS401 には固定IPアドレスが必要です。
- 2 LANdeVOICE端末にはCCS401 のIPアドレスを登録する必要があります。  
端末はCCS401 にステータス通知を行い、CCS401 はその通知内容を端末管理システムに反映します。端末にCCS401 のIPアドレスを登録しないとこのステータス通知を行うことができません。  
※具体的な設定方法については第 3 章をご覧ください。
- 3 LANdeVOICE端末はIPアドレスまたはシリアル番号で管理されます。  
端末のIPアドレスが固定の場合はIPアドレスで管理されます。  
IPアドレスが動的の場合はシリアル番号で管理されるため、シリアル番号の登録を行う必要があります。  
※具体的な登録方法についてはP.39、40 をご覧ください。
- 4 LANdeVOICE端末はできるだけ短い間隔でステータス通知を行う必要があります。  
端末のステータス通知の間隔が長ければ長いほど、端末管理システムへの反映が遅れます。端末管理システムをできるだけ最新状態で活用するために、各端末のステータス通知間隔を 3 分に設定することを推奨します。  
※具体的な設定方法についてはP.18、19 をご覧ください。
- 5 端末管理システムでの初回端末登録時や一括編集時には「CSV入力タブ」を使用することをおすすめします (P.45 参照)。  
それ以外のメンテナンス (端末の追加、登録済み端末情報の変更) 時は「LANdeVOICE端末情報」タブを使用することをお勧めします (P.37 参照)。
- 6 LANdeVOICE端末のIPアドレスは端末側でしか変更できません。  
端末のIPアドレスは端末管理システムで閲覧することはできますが、変更することはできません。変更したい場合は各端末で設定変更を行ってください。

## 付属品の確認

CCS401 をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げ頂いた販売店または代理店までご連絡ください。

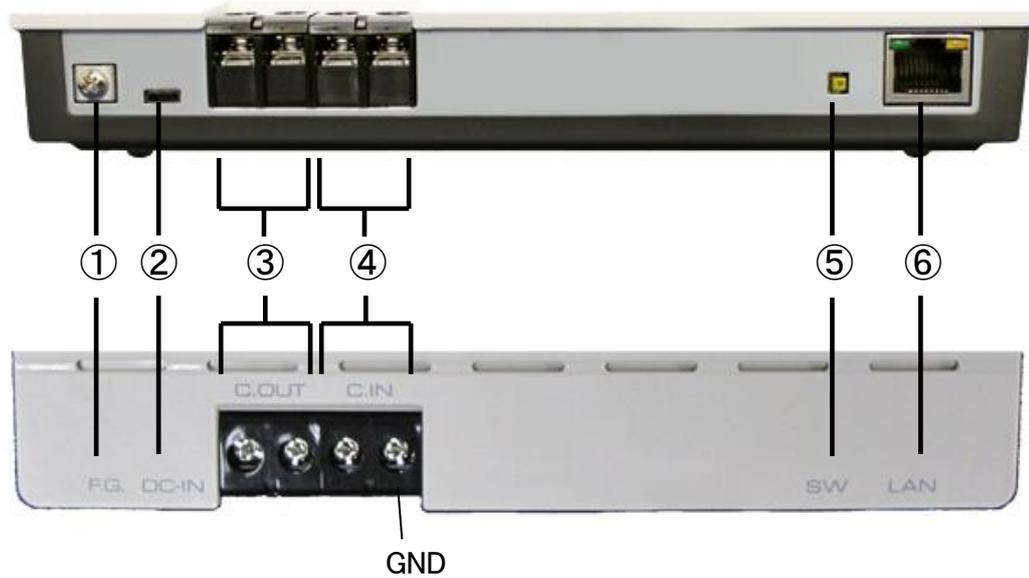
- LANdeVOICE CCS401 本体
- ACアダプタ (専用アダプタ 9V 1A)
- LANケーブル (ストレート 3m)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書 (本書末尾)
- シリアルシール

## 各部の名称と働き

### 1 前面



## 2 背面と上面



- ① F.G.  
接地(アース)端子
- ② DC-IN  
付属の AC アダプタを接続
- ③ C.OUT 使用しません ※将来拡張用
- ④ C.IN 使用しません ※将来拡張用
- ⑤ SW  
初期化用プッシュスイッチ(P.27 参照)
- ⑥ LAN  
RJ-45 ネットワークケーブル(10BASE-T/100BASE-TX)を接続

## LED表示

LED表示			CCS401 の状態
STATUS	CCH	TCH	
消灯	消灯	消灯	電源OFF
電源を入れた瞬間にSTATUSが約 5 秒間紫点灯。一旦消灯し、約 5 秒後にSTATUSが不規則に紫点滅。約 15 秒後に全LEDが白交互点灯			電源投入時
橙速点滅	消灯	消灯	端末管理システム起動中 (約 13 秒)
緑点灯	緑点灯	緑点灯	待機状態 呼制御パケット処理時: CCHが橙点灯 音声パケット処理時: TCHが橙点灯
赤遅点滅	緑点灯	緑点灯	LANケーブルが接続されていない
赤速点滅	赤速点滅	赤速点滅	端末再起動中
白速点滅	白速点滅	白速点滅	設定画面左上「点滅」ボタン押下時 (3 秒間点滅) ※複数台の端末を同時に設定する場合に設定中の端末を確認可能
赤速点滅	消灯	消灯	不適切なファイルが送信された ※送信されたファイルは反映されていません。適切なファイルを送信してください。 ※再起動すると待機状態に戻ります。
橙点灯	橙点灯	橙点灯	異常時 (ソフトウェアに関する異常を検出) ※設定変更時にも一時的に同様のLED表示になります。



### メモ 異常時の対処

端末状態のLEDが異常時の状態を表しているときには、お客様では復旧できません。修理が必要となりますので、お手数ですが、お買い求め頂いた代理店または販売店へご連絡ください。

または、弊社Webサイトよりメールにてお問い合わせください。  
<https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンが更新され、予告なく仕様が変更されている場合があります。  
 弊社Webサイトにて随時情報が更新されていますので、ご確認くださいませよう、お願いいたします。

---

## 第2章 設置と接続

---

この章では、CCS401 の設置と各機器との接続方法について説明します。  
設置する前に、P.2「安全上のご注意」を必ずお読みください。  
手順としては、第 4、5 章の設定を先に行った方がスムーズな場合があります。

- 設置する
- 電源を入れる
- LANケーブルを接続する

## 設置する

通常設置の場合は、CCS401 のゴム脚(滑り止めシール)が付いている面を下にして設置してください。

壁掛け設置をする場合や平置きで台に固定する場合は、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用することを推奨します。

平置き段積みする場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用して設置してください。

## 電源を入れる

- 1 CCS401 には電源スイッチはありません。ACアダプタのコネクタ部分を「DC-IN」に接続し、プラグ部分をコンセントに差し込むと電源が入ります。  
※必要に応じて、アースを接続してください。



- 2 CCS401 の電源を切るには、プラグ部分を電源コンセントから抜きます。

## LANケーブルを接続する

- 1 LANケーブルを「LAN」と書かれたポートに接続します。  
ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 2 LANケーブルの反対側をHUBまたはルーターなどのネットワーク機器に接続してください。

### メモ LANポートのリンクランプを確認してください

CCS401 とネットワーク機器が正しく接続されている場合は、電源投入後にLANポートのリンクランプが点灯します。ご使用になる前にリンクランプが点灯しているかご確認ください。

接続状況	緑 LED(左) 黄 LED(右)	
100BASE-TX でリンクアップ	点灯	点灯
10BASE-T でリンクアップ	点灯	無灯

---

## 第3章 LANdeVOICE 端末へ CCS401 を登録

---

CCS401 経由で発信を行うために、LANdeVOICE 端末へ CCS401 を登録する必要があります。その方法について説明します。

※各 LANdeVOICE 端末の詳細な設定方法については、各機種取扱説明書をご覧ください。

- LANdeVOICE 端末が 4 シリーズの場合
- LANdeVOICE 端末が 2、3 シリーズの場合

## LANdeVOICE端末が4シリーズの場合

LANdeVOICE 端末が以下の機種の場合、下記のファイルを設定します。  
PB402、PT402、OD402、SP401、DA401

- 1 システム設定ファイル(syscnfg.ini)の設定  
SERVER CCS401 のIPアドレスを設定します。

(例)

**SERVER 192.168.1.100 !CCS401 の IP アドレス**

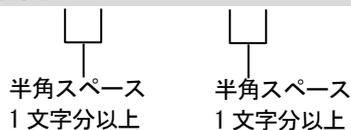


- 2 システム設定ファイル(syscnfg.ini)の設定  
ALIVETIMER 工場出荷時設定値 3 が推奨値です。

- 3 電話番号設定ファイル(phone.ini)の設定  
IPアドレスを「SERVER」と記述します。

(記述方法)

**電話番号 SERVER !コメント文**



### 注意 電話番号設定について

発信元端末のphone.iniとCCS401の端末管理サーバの両方で登録されている電話番号の宛先IPアドレスについては、発信元端末のphone.iniの設定が優先されます。発信元端末のphone.iniでの宛先IPアドレスを「SERVER」と記述するか、行自体をコメントアウトしてください。

※LANdeVOICE 2、3、4シリーズ共通

## LANdeVOICE 端末が 2、3 シリーズの場合

LANdeVOICE 端末が以下の機種の場合、下記のファイルを設定します。  
PB02、PT02、OD02、KA02、PAB01、PBSP、PBSP-SIO、PBSP-BL、DA301、LA01

### 1 基本設定ファイル (netcnfg.ini) の設定

SERVER CCS401 の IP アドレスを設定します。

(例)

**SERVER 192.168.1.100 !CCS401 の IP アドレス**

半角スペース  
1 文字分以上

半角スペース  
1 文字分以上

### 2 システム設定ファイル (syscnfg.ini) の設定

ALIVETIMER 推奨設定値は 3 です。

### 3 電話番号設定ファイル (phone.ini) の設定

IP アドレスを「SERVER」と記述します。

(記述方法)

**電話番号 SERVER !コメント文**

半角スペース  
1 文字分以上

半角スペース  
1 文字分以上

※CCS401 の IP アドレスを記述してもかまいません。

---

## 第4章 CCS401 の設定方法

---

この章では、CCS401 を設定するための手順等について説明します。

- 設定画面ログイン方法
- 設定画面について
- 設定画面のメニューについて
- 初期化の方法
- 設定の流れ



### メモ 設定方法について

CCS401 は、お客様のパソコンの Web ブラウザより必要な設定をして頂きます。

設定変更の際は本書をよくお読みになり、正しく設定をしてください。

## 設定画面ログイン方法

CCS401 を設定するための、設定画面のログイン方法について説明します。

### 1 本体に電源を入れます。

本体に添付のACアダプタとLANケーブルを接続します。  
 本体のLEDが待機状態になっているか確認をしてください。  
 LEDについて(P.14)

### 【出荷時設定】

本体の IP アドレス(IP)	192.168.1.24	※変更可
ネットマスク	24(255.255.255.0)	※変更可
デフォルトゲートウェイ(ROUTER)	192.168.1.1	※変更可
HTTP ポート番号(HTTPD_PORT)	8084	※変更可
ユーザ名	admin	※変更不可
パスワード	admin	※変更可:下記参照

### 【パスワード設定可能値】

半角英数字、6 種類の半角記号、合計 5～8 文字で設定可能です。  
 ※英字の大文字、小文字は区別されます

1234567890  
 abcdefghijklmnopqrstuvwxyz  
 ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ  
 ! (感嘆符) # (番号記号) % (パーセント)  
 & (アンパサンド) @ (単価記号) \_ (アンダーバー)

### 注意 設定時の注意

- ・設定用のパソコンとCCS401 は、IPネットワーク(IPv4)で接続できる必要があります。パソコンのネットワーク設定をCCS401 に合わせ、同一セグメント内(推奨)から接続してください。 ※P.66 参照
- ・WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。
- ・パスワードはセキュリティの観点から変更することを推奨いたします。パスワードは他人に知られないようにしてください。
- ・設定時には、本体のLEDが正常動作しているかご確認ください。CCS401 が通話中の場合に設定を変更すると、再起動が発生し通話が切断されますのでご注意ください。

## 2 パソコンのWebブラウザを起動します。

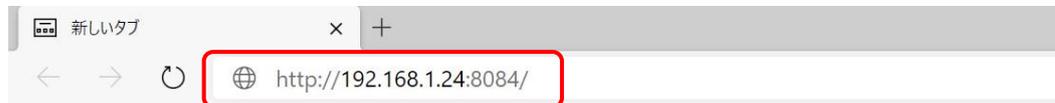
### 【Webブラウザとは】

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。  
弊社で動作確認済みのWebブラウザは、以下の通りです。

- ・Microsoft Edge(バージョン:79.0.309.65 以上)
- ・Firefox
- ・Google Chrome

※WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。

## 3 起動したら、Webブラウザのアドレスバーに「<http://192.168.1.24:8084/>」と入力し、[Enter]キーを押します。



<http://192.168.1.24:8084/>



CCS401 の IP アドレス



設定画面に接続するための  
HTTP サーバのポート番号

※アドレスとポート番号は、出荷時設定(初期設定値)です。

設定を変更した場合には、設定後のIPアドレスとポート番号に置き換えてください。(IPアドレスはIPv4 アドレスのみとなります)

- 4 ログイン画面になりましたら、ユーザ名とパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。  
※ブラウザにより表記が異なります



The screenshot shows a login form with two input fields: 'ユーザー名' (Username) containing 'admin' and 'パスワード' (Password) containing '.....'. Below the fields are two buttons: 'サインイン' (Sign In) in blue and 'キャンセル' (Cancel) in grey. A red box highlights the input fields, and another red box highlights the 'サインイン' button.

ユーザー名 : admin  
パスワード : admin  
半角小文字で入力してください

 **注意** パスワードについて

ご購入時や初期化時は、パスワードが初期値となります。  
設定画面からパスワードを変更することができますので、セキュリティ上、パスワードを変更して使用することを推奨いたします。  
また、パスワードは他人に知られないようにしてください。

 **メモ** ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ CCS401 のLEDが待機状態であるか
- ・ LANケーブルが奥までしっかりと接続されているか  
(ケーブルはカチッと音がするまで差し込んでください)
- ・ LANケーブルが接続されているHUB等のネットワーク機器のランプがアクティブな状態になっているか
- ・ 設定するパソコンのネットワーク設定が適切か
- ・ IPアドレス及びポート番号の値が適切か
- ・ IPアドレスとポート番号の間が「:」(半角コロン)になっているか
- ・ パソコンのコマンドプロンプトより「ping 192.168.1.24」にて通信が確認できるか

## 5 下記のような画面が表示されたら、設定画面へのログイン完了です。

LANdeVOICE

CCS401 | CCS401 | SN2001401

LANdeVOICEをお買い上げいただき、ありがとうございます。  
取扱説明書や最新のファームウェアは下記サイトをご確認ください。  
製造元:株式会社エイツー  
Webサイト: <http://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

### ▶ CCS401 設定画面

#### ▶ 端末情報

端末名	CCS401	点滅
製品名	CCS401	
SN	2001401	
MAC	00:10:43:14:05:79	
リリース	2.2.0	

#### ▶ 基本設定ファイル (netcfg.ini)

変更したい箇所を直接書き換えて画面下部の"設定変更"ボタンを押してください。  
入力は全て半角文字を使用してください。

IPアドレスネットマスク	192.168.1.24 / 24 (255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ	192.168.1.1
端末名	CCS401 半角英数字、ピリオド、ハイフンを使用できます。 最大20文字。
HTTPポート番号	8084 (0 - 65535) 0または空白を設定すると設定画面が開かなくなります。

キャンセル

#### ▶ 端末の時刻設定

NTPサーバと同期したい場合は、"IPアドレス"と"同期間隔"を記述し、画面下部の"設定変更ボタン"を押してください。設定変更後すぐに同期を開始します。  
パソコンと同期したい場合は、"パソコンの時刻に合わせる"ボタンを押してください。すぐに同期を開始します。

設定変更

端末管理システム

- ログ確認
- バックアップファイル作成
- ファイル送信 / バックアップファイル復元
- PING実行
- ログイン用パスワード変更
- 工場出荷時設定

## 設定画面について

設定画面については、以下のようになっています。  
 設定は、直接書き換えることができます。  
 「キャンセル」ボタンを押すと、変更内容をキャンセルします。

The screenshot shows the LAN VOICE CCS401 configuration page. Key sections include:

- 端末情報 (Terminal Information):** Fields for 端末名 (CCS401), 製品名 (CCS401), SN (2001401), MAC (00:10:43:14:05:79), and リソース (2.0.0\_b2).
- 基本設定ファイル (netcnfg.ini):** Fields for IPアドレス/ネットマスク (192.168.1.92 / 24.255.255.0), デフォルトゲートウェイ (192.168.1.1), 端末名 (CCS401), and HTTPポート番号 (8084).
- システム設定ファイル (syscnfg.ini):** A text area showing configuration parameters like :DCS\_IP, :CIRI, :FAKE\_PROXY, :DUPR\_SETUP, and :LNUC\_SETUP.
- 端末の時刻設定 (Terminal Time Setting):** Fields for NTPサーバ (IP address and interval), 端末の現在の時刻 (2016.07.27 15:07:03), and buttons for synchronization.

Annotations on the left side of the image identify various elements:

- 端末情報** points to the terminal information section.
- 端末管理システム** points to the '端末管理システム' button.
- 設定画面メニュー** points to the 'ログ確認', 'バックアップファイル作成', etc., menu.
- システム設定 (syscnfg.ini) 設定値については第 5 章に記載** points to the system settings file section.
- システム設定変更 キャンセルボタン** points to the 'キャンセル' button in the system settings section.

Annotations on the right side of the image identify other elements:

- 基本設定 (netcnfg.ini) 設定値については第 5 章に記載** points to the basic settings file section.
- 基本設定 (netcnfg.ini) キャンセルボタン** points to the 'キャンセル' button in the basic settings section.
- 端末時刻設定** points to the terminal time setting section.

The '設定変更' (Save) button at the bottom center is labeled **設定変更ボタン**.

設定ファイルを書き換えた後は、ページ下部にある「設定変更」ボタンを必ずクリックし、設定を反映させてください。

NTP サーバとの同期設定後、再度、すぐに同期したい場合は、「端末の時刻設定」の「再度 NTP サーバと時刻同期を行う」ボタンをクリックしてください。クリックすると、すぐに設定条件での同期を開始します。

## 設定画面のメニューについて

設定画面のメニューについて説明します。

①	ログ確認	»
②	バックアップファイル作成	»
③	ファイル送信/ バックアップファイル復元	»
④	PING実行	»
⑤	ログイン用パスワード変更	»
⑥	工場出荷時設定	»
⑦	端末再起動	»

- ① …現在の端末内部ログを取得(表示)します。
  - ・動作ログ(mlog):基本動作を記録したログです。
  - ・通信ログ(cchlog):呼制御動作を記録したログです。
  - ・解析ログ(elog):詳細動作を記録したログです。(メーカー調査用)
- ② …設定ファイルやログをパソコンに保存します。

設定完了後や修理を依頼いただく際は、バックアップファイルの作成・保存を推奨します。

保存されたファイルは「.tgz形式(tar.gz形式)」で圧縮されています。  
(解凍ソフト例:Lhaplus)
- ③ …パソコン上で作成した各種設定ファイルを端末に転送できます。

ファームウェアのアップデートや、予め作成した設定ファイルなどを転送することができます。

(修理後、お手元に製品が戻ってきましたら、予め保存しておいた③で作成したバックアップファイルの中に含まれている該当ファイルを転送することにより、修理前の設定に戻すことができます)
- ④ …IPアドレスを入力してpingを実行します。

IPv4 アドレスのみです(ホスト名は不可)
- ⑤ …設定画面ログイン時のパスワードを変更します。

設定可能値:P.21 参照
- ⑥ …CCS401 の工場出荷時設定が記載されています。

ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックすると、システム設定ファイル(syscnfg.ini)の設定が工場出荷時設定に初期化されます。
- ⑦ …CCS401 本体を再起動します。

(通話中の場合は通話が切断されます。)

## 初期化の方法

本体背面のSW(プッシュスイッチ)を約 3 秒以上長押しすると全LEDが赤速点滅し、自動的に再起動します。再起動後、以下の項目が出荷時設定となります。

端末のIPアドレスやパスワードがわからなくなった場合は、この方法でログインすることができます。

- 基本設定ファイル(netcnfg.ini)の全項目
- admin ユーザのパスワード:admin

再起動後は、ブラウザに以下のURLを指定することによって設定画面にアクセスすることができるようになります。

<http://192.168.1.24:8084/>

※システム設定ファイル(syscnfg.ini)を初期化する場合は、設定画面メニュー「工場出荷時設定」ページ下部の「設定変更」ボタンをクリックしてください。

※端末管理システムのデータを初期化する方法は 2 つあります。

- ・端末管理システムWeb画面にアクセス(P.35 参照)し「CSV入力」タブ(P.45 参照)の記述を全消去する
- ・設定画面メニュー「バックアップファイル作成」で取得した端末管理システムデータ(database.zip)を解凍し、全CSVファイルの内容を全消去、その後再度ZIP形式に圧縮し(圧縮ファイルの名前は「database.zip」に戻す)、メニュー「ファイル送信/バックアップファイル復元」で送信する。

## 設定の流れ

CCS401 の設定の流れは以下の通りです。

- 1 基本設定ファイル(netcnfg.ini)を設定**  
設定画面にログインし、P.30、31 に記載の各項目を設定します。
- 2 端末管理システムを設定**  
設定画面から端末管理システムWeb画面にログインし、LANdeVOICE 端末の  
端末情報の登録を行います(第 6 章参照)。
- 3 必要に応じてシステム設定ファイル(syscnfg.ini)を設定**  
設定画面に戻り、P.33 に記載の各パラメータを設定します。

---

## 第5章 設定ファイル一覧

---

この章では、CCS401 を設定するための各種設定ファイルについて説明します。

- 基本設定ファイル (netcnfg.ini)
- システム設定ファイル (syscnfg.ini)

## 基本設定ファイル (netcnfg.ini)

ネットワークに関する基本情報の設定ファイルです。端末の時刻設定の一部も含まれます。  
 変更したい箇所を直接書き換えて「設定変更」ボタンを押してください。  
 ※全て半角文字で記述してください。

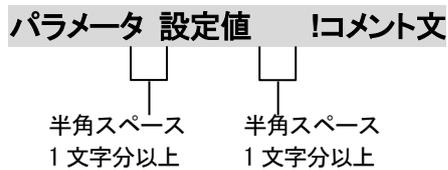
このファイルで設定できる項目は下表の通りです。

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
IPアドレス/ ネットマスク	CCS401 のIPアドレスとネットマスクを設定します。  ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ネットマスク: 該当するビット数を選択してください。	固定IPアドレス ネットマスク  (IPv4 のみ)	IPアドレス: 192.168.1.24  ネットマスク:24 ビット (255.255.255.0)
デフォルト ゲートウェイ	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。  ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
端末名	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます)  ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可)  (記述例 abc-123)  無記述時は機種名が表示されます。	最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)	機種名が表示されます
HTTPポート 番号	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。  セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定してください。	0~65535	8084

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
NTPサーバ IPアドレス	時刻同期に使用するNTPサーバのIPアドレスを設定します。 NTPサーバ同期間隔の設定も必要です。 ※ドメイン名での設定はできません。	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定
NTPサーバ 同期間隔	時刻同期を行う間隔を設定します。 本パラメータ未設定時はNTPによる時刻同期を行いません。	1~24 単位: 時間	未設定

## システム設定ファイル (syscnfg.ini)

システムに関する設定ファイルです。  
パラメータの記述方法と編集ルールは以下の通りです。



### <編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。  
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字及び半角文字が使用可能です。  
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)に設定できるパラメータは下表の通りです。

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CIRT	<p>代表電話番号設定(同じ電話番号で複数の端末を呼び出す設定)の最初の着信先を設定します。</p> <p>ON: 都度着信先が入れ替わっていく OFF: 一番上の宛先に着信させる</p> <p>※代表電話番号の設定方法についてはP.40、49、54をご覧ください。 ※着信順の詳細についてはP.65をご覧ください。</p> <p>(記述例 CIRT OFF)</p>	ON OFF	ON
PLUR_SETUP	<p>複数台一斉呼出の設定をします。</p> <p>設定された電話番号で呼び出しがあった場合、その番号で登録された宛先に一斉に着信させます。</p> <p>※一斉呼出用の電話番号の設定方法についてはP.40、49、54をご覧ください。</p> <p>【登録可能数】 最大 50 グループ 1 グループ最大 10 件</p> <p>一行に複数の電話番号を記述することも、複数行に分けて記述することも可能です。</p> <p>(記述例) PLUR_SETUP 200 300 400 PLUR_SETUP 500 PLUR_SETUP 600</p>	<p>23 桁までの電話番号</p> <p>0~9</p>	未設定

---

## 第6章 端末管理システム

---

この章では、端末管理システムについて説明します。

※新規で CCS401 を導入する場合は、この章をご覧ください。

※CPS8 から CCS401 へリプレースする場合は便利な手順や注意事項があるため、この章及び P.59 を併せてご覧ください。

- 端末管理システムWeb画面ログイン方法
- LANdeVOICE端末情報の登録、閲覧、編集
- 端末状態確認表示
- CSV入力による設定

## 端末管理システムWeb画面ログイン方法

CCS401 で電話番号管理や呼制御を行うための、端末管理システムWeb画面のログイン方法について説明します。

- 1 CCS401 の設定画面にログインします。
- 2 端末管理システムリンクボタンをクリックします。

※WebブラウザのアドレスバーにURLを直接入力する場合は、以下を入力してください。

「http://[CCS401 の IP アドレス]:8080/LdVManager」

“ [ ” 及び “ ] ” は実際には不要です。

- 3 ログイン画面になったらユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。ユーザ名とパスワードはCCS401 の設定画面にログインするためのものと同様です。

- 4 下記のような画面が表示されたら、端末管理システムWeb画面へのログイン完了です。

LANdeVOICE 端末情報(P.37)

端末状態確認(P.42)

CSV 入力(P.45)

LANdeVOICE端末情報 CSV入力 端末状態確認

一覧 登録

検索対象列: 電話番号 検索ワード: 検索

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

動的ポート番号  端末情報変更日時

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.90	4445	営業1課 PBSP 電話機
2	200	0	192.168.1.94	4445	営業2課 PB402 電話機
3	300	0	192.168.1.95	4445	第1会議室 SP401 スピーカ
4	400	0	192.168.1.96	4446	第2会議室 KA02 スピーカ

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

ページを再読み込み

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.



### メモ ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ CCS401 のLEDが待機状態であるか
- ・ URL直接入力の場合、IPアドレス及びポート番号の値(8080)が適切か  
IPアドレスとポート番号の間が「:」(コロン)になっているか  
「LdVManager」部分の記述が正しいか



### 注意 画面アクセスの重複による負荷について

端末管理システムWeb画面に複数のパソコンから同時にアクセスしたり、1台のパソコンで重複して画面を開いたりすると、重複した分だけネットワークに負荷がかかります。同時アクセスは2台までを推奨します。また、1台のパソコンで重複して開かないようご注意ください。

## LANdeVOICE端末情報の登録、閲覧、編集

「LANdeVOICE端末情報」タブは、端末管理システムWeb画面ログイン時に開かれているタブです。このタブでは、LANdeVOICE端末の情報を登録、閲覧、編集することができます。

## 1 一覧

ログイン時または「LANdeVOICE端末情報」タブを開いた時に表示される画面です。CCS401 を呼制御サーバとして登録している全LANdeVOICE端末の情報を閲覧できます。

The screenshot shows the LANdeVOICE terminal management interface. It includes a header with tabs for 'LANdeVOICE端末情報', 'CSV入力', and '端末状態確認'. Below the header are buttons for '一覧' and '登録'. A search section contains a dropdown for '検索対象列' (set to '電話番号'), a '検索ワード' input field, and a '検索' button. Below the search is a table of terminal information with columns for '電話番号', 'シリアル番号', 'IPアドレス', 'ポート番号', and 'コメント'. The table lists 4 items. A '変更' button is visible next to each row. At the bottom, there are pagination controls and a 'ページを再読み込み' button. The footer contains the text '端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.'

① 端末の新規登録  
② 検索フォーム  
③ オプション項目の表示 / 非表示切替  
④ 項目別にソート  
⑤ 端末情報の変更  
⑥ ページ再読み込み  
⑦ ページ送り

### メモ 端末のIPアドレス表示について

- ・ 固定IP (P.39、40 参照) の場合、設定したIPアドレスが表示されます。
- ・ 動的IP (P.39、40 参照) の場合、端末の現在のIPアドレスが表示されず、35分以上通信できなかった場合、及びIPアドレスリセット時(P.46 参照)に端末からステータス通知が来るまでの間は「切断」と表示されます。  
※固定IPの場合は「切断」表示がされません。
- ・ 端末のリアルタイムの通信状態は「端末状態確認」タブで確認してください。

<各部解説>

①端末の新規登録

クリックすると、「LANdeVOICE 端末情報登録」画面(P.39 参照)が表示されます。

②検索フォーム

「一覧」に表示する端末の条件を絞り込みできます。

「検索対象列」で指定した列に「検索ワード」で入力した文字が含まれている端末のみを表示させます。

・「検索対象列」は以下のいずれかから選択できます。

「電話番号」「シリアル番号」「IP アドレス」「ポート番号」「コメント」

・検索ワードの入力可能文字

電話番号	半角数字、" 未登録 "
シリアル番号	半角数字
IP アドレス	半角数字、"."(ピリオド)、" 切断 "
ポート番号	半角数字
コメント	半角全角文字、記号

③オプション項目の表示 / 非表示切替

チェックボックスをクリックすると、オプション項目列の表示、非表示を切り替えることができます。

・端末情報変更日時：最後に端末情報を変更した日時が表示されます。

・動的ポート番号：ポート番号が「動的ポート番号」で登録されている端末にチェックが入ります。

④項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑤端末情報の変更

クリックすると、端末情報変更画面(P.41 参照)が表示されます。

⑥ページ再読み込み

クリックすると、検索条件、ソート条件、ページ送りを保ったままページを再読み込みします。

⑦ページ送り

表示結果のページ送りができます。

## 2 登録

P.37 の①のボタンをクリックすると、「LANdeVOICE 端末情報登録」画面が表示され、端末情報の新規登録を行うことができます。

ここでは、CCS401 に接続予定のLANdeVOICE 端末の情報を事前に登録します。

端末が固定IPの場合：電話番号、IPアドレス、ポート番号

端末が動的IPの場合：電話番号、シリアル番号、ポート番号

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

LANdeVOICE 端末情報登録

LANdeVOICE 端末の登録を行います

IPアドレスを入力してください  
ポート番号を入力してください

電話番号	<input type="text"/>
IPアドレス	固定IP <input type="checkbox"/> <input type="text"/>
ポート番号	固定ポート番号 <input type="checkbox"/> <input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>

実行 閉じる

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。

登録された端末情報は即座に反映されます。

LANdeVOICE 端末情報登録

LANdeVOICE 端末の登録を行います

電話番号	<input type="text" value="500"/>
IPアドレス	固定IP <input type="checkbox"/> <input type="text" value="192.168.1.97"/>
ポート番号	固定ポート番号 <input type="checkbox"/> <input type="text" value="4445"/>
コメント	<input type="text" value="第3会議室 SP401 スピーカ"/>

よろしいですか?

OK キャンセル

実行 閉じる



### メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・LANdeVOICE 端末の登録件数が 800 件を超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

<各項目欄解説>

### 電話番号

登録する端末を呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字の他、" [ ] "(省略)や" < > "(追加)等、LANdeVOICE 端末の電話番号設定ファイル(phone.ini)にて記述可能な文字、表記を入力することができます。
- ・23 桁まで入力可能です。
- ・電話番号を入力せず登録を実行した場合、「一覧」では「未登録」と表示されます。

### IP アドレス

登録する端末の IP アドレスを入力します。

- ・固定 IP / 動的 IP を選択します。
- ・固定 IP の場合に IP アドレスを入力します。

### シリアル番号

※IP アドレスで動的 IP を選択すると入力欄が表示されます。

登録する端末のシリアル番号を入力します。

- ・半角数字のみ入力可能です。
- ・先頭の「0」は省略されて画面表示されます。

例) 入力シリアル番号 0410608 → 画面表示シリアル番号 410608

※固定 IP の場合は画面表示は「0」となります。

### ポート番号(登録する端末のパラメータ「CCH」参照)

登録する端末で使用するポート番号の設定をします。

ポート番号は登録する端末のパラメータ「CCH」の値です(メモ参照)。

- ・固定ポート番号 / 動的ポート番号 を選択します。
- ・通常は固定ポート番号を選択し、使用するポート番号を入力します。  
0~65535 の半角数字のみ入力可能です。

※動的ポート番号は動的 IP 時のみ設定できます。動的ポート番号にすると、端末からのステータス通知の際に CCH の値を自動的に反映します。すなわち 1 回線目のポート番号しか表示できないため、2 回線を使用する場合は必ず固定ポート番号を設定してください。

### コメント

登録する端末に関するコメントを自由に入力できます。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。



#### メモ 2 回線モデル端末で 2 回線とも使用する場合の設定

- ・2 件に分けて考え、異なる電話番号と同じ IP アドレスまたはシリアル番号を設定します。
- ・1 回線分登録後の確認画面で「続けて別回線を登録する」ボタンをクリックすると 2 回線目の登録が簡単にできます。
- ・ポート番号に CCH の値を入力した方が 1 回線目(ch.1)、CCH の値 + 1 を入力した方が 2 回線目(ch.2)になります。

### 3 変更

P.37 の⑤のボタンをクリックすると、「LANdeVOICE 端末情報変更」画面が表示され、登録済みの端末情報の変更を行うことができます。

LANdeVOICE 端末情報変更

LANdeVOICE 端末情報の変更を行います

	変更前	変更後
電話番号	100	<input type="text" value="500"/>
IPアドレス	固定IP 192.168.1.90	<input type="text" value="動的IP"/> ▼
シリアル番号	0	<input type="text" value="410608"/>
ポート番号	固定ポート番号 4445	<input type="text" value="固定ポート番号"/> ▼ <input type="text" value="4446"/>
コメント	営業1課 PBSP 電話機	<input type="text" value="営業1課 PBSP マイク・スピーカ"/> ×

削除

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。変更後の端末情報は即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「LANdeVOICE 端末情報登録」画面とほぼ同様です。

#### ■削除

「LANdeVOICE 端末情報変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の端末情報が即座に削除されます。

一度削除した端末情報は元に戻すことができません。

#### メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

#### メモ 新規登録前の端末接続について

- ・新規登録の前に端末を接続すると、端末管理システムには自動的に電話番号未登録/動的IP設定でテーブルが追加されます。このテーブルは変更画面にて電話番号登録をすることができます。
- ・変更画面で電話番号登録をすると、登録後の確認画面で「続けて別回線を登録する」ボタンが表示されます。2回線モデル端末で2回線とも使用する場合はこのボタンをクリックすると2回線目の登録が簡単にできます(固定ポート番号に設定する必要があります)。

## 端末状態確認表示

「端末状態確認」タブをクリックすると、Webブラウザの新規タブまたはウィンドウが開きます。このタブでは、端末管理システムに登録されたLANdeVOICE 端末及びCCS401の通信状態を確認することができます。

The screenshot shows the '端末状態確認' (Terminal Status Confirmation) page. It features a search form and a table of terminal statuses. Callouts 1-7 highlight specific features: 1. CCS401 communication status, 2. Search form, 3. Sortable options, 4. Sort by item, 5. Terminal communication status, 6. Refresh button, 7. Page navigation.

**①CCS401の通信ステータス**

LANdeVOICE端末および各サーバの通信状態を確認できます

各サーバのステータス

通信ステータス	IPアドレス	ポート番号
CCS401 <span style="color: green;">●</span> 正常	192.168.1.93	4445

**②検索フォーム**

検索対象列: 電話番号  検索ワード:

正常端末を表示する  異常端末を表示する

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

**③オプション項目の表示 / 非表示切替** **④項目別にソート**

通信ステータス	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
<span style="color: orange;">●</span> 通話中	100	0	192.168.1.90	4445	営業1課 PBSP 電話機
<span style="color: orange;">●</span> 通話中	200	0	192.168.1.94	4445	営業2課 PB402 電話機
<span style="color: green;">●</span> 待機中	300	0	192.168.1.95	4445	第1会議室 SP401 スピーカ
<span style="color: red;">●</span> 異常	400	0	192.168.1.96	4446	第2会議室 KA02 スピーカ

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

⑤端末の通信ステータス

⑥ページ再読み込み

⑦ページ送り

### 注意 タブの重複について

「端末状態確認」タブを重複して開くと、その分ネットワークに負荷がかかります。極力重複しないようご注意ください。

<各部解説>

①CCS401 の通信ステータス

CCS401 の通信状態が表示されます。通信状態は 5 秒毎に自動更新されます。色表示と通信状態の関係は以下の通りです。

色表示	表示内容	CCS401 の状態
緑点灯	正常	利用可能
赤点灯	異常	システム異常
	HTTP エラー	CCS401 と Web ブラウザ間で HTTP 通信が行えていない  一度端末管理システムを閉じ、再度 CCS401 設定画面から端末管理システムを起動してください。画面が表示できなければ、CCS401 の接続状況を LED 等で確認してください。

②検索フォーム

「一覧」に表示する端末の条件を絞り込みできます。

「検索対象列」で指定した列に「検索ワード」で入力した文字が含まれている端末のみを表示させます。

・「検索対象列」は以下のいずれかから選択できます。

「電話番号」「シリアル番号」「IP アドレス」「ポート番号」「コメント」

・検索ワードの入力可能文字

電話番号	半角数字、" 未登録 "
シリアル番号	半角数字
IP アドレス	半角数字、"."(ピリオド)、" 切断 "
ポート番号	半角数字
コメント	半角全角文字、記号

・「正常端末を表示する」にチェックを入れると、通信ステータスが「正常」、「通話中」の端末を表示します。

・「異常端末を表示する」にチェックを入れると、通信ステータスが「異常」の端末を表示します。

③オプション項目の表示 / 非表示切替

チェックボックスをクリックすると、オプション項目列の表示、非表示を切り替えることができます。

・接続 / 切断日時: 接続中の場合は端末が最後に接続を開始した日時が、切断中の場合は端末が切断した日時が表示されます。

・動的ポート番号: ポート番号が「動的ポート番号」で登録されている端末にチェックが入ります。

④項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑤端末の通信ステータス

端末の通信状態が表示されます。

通信ステータスとその他の端末情報は自動更新されます。

色表示と通信状態の関係は以下の通りです。

色表示	表示内容	端末の状態
緑点灯	待機中	待機状態。該当端末に対して発信可能
橙点灯	通話中	通話状態
赤点灯	異常	ネットワークから切断されている
	削除された 端末です	登録が削除された状態 ※削除後、ページを再読み込みするまで表示
	HTTP エラー	CCS401 と Web ブラウザ間で HTTP 通信が行えていない  一度端末管理システムを閉じ、再度 CCS401 設定画面から端末管理システムを起動してください。画面が表示できなければ、CCS401 の接続状況を LED 等で確認してください。

⑥ページ再読み込み

クリックすると、検索条件、ソート条件、ページ送りを保ったままページを再読み込みします。

⑦ページ送り

表示結果のページ送りができます。

## CSV入力による設定

「CSV 入力」タブは、端末管理システムに登録する端末情報を CSV 形式にて一括管理することができるタブです。

初回登録時や一括編集時にはこのタブを使用することをおすすめします。開くと、現在の登録情報が全て CSV 形式で表示されます。

本設定実行時、動的 IP (P.39、40 参照) の場合は CCS401 に登録されている端末 IP アドレス情報をリセットできます。

その場合、一定時間通話が行えなくなります。各端末のパラメータ「ALIVETIMER」の値を 3 分に設定することを推奨します (P.18、19 参照)。

①編集用チェックボックス      ②入力フォーム

LANdeVOICE端末情報      CSV入力      端末状態確認

各フォームに情報を入力してください

LANdeVOICE端末情報

!電話番号, シリアル番号, IPアドレス, ポート番号, [PORT\_ANY, ] ! コメント(最大30文字)  
 !シリアル番号を0とした場合、固定IPアドレスの端末として登録されます。  
 !PORT\_ANYを記述した場合、動的ポート番号の端末として登録されます。  
 100, 0, 192.168.1.90, 4445, !営業1課 PBSP 電話機  
 200, 0, 192.168.1.94, 4445, !営業2課 PB402 電話機  
 300, 0, 192.168.1.95, 4445, !第1会議室 SP401 スピーカ  
 400, 0, 192.168.1.96, 4446, !第2会議室 KA02 スピーカ

現在のデータにリセット

インポート  IPアドレスをリセットする

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

③リセットボタン      ④データのインポート  
 ※IP アドレスリセット用チェックボックス付

<各部解説>

①編集用チェックボックス

誤編集防止用です。チェックすると、入力フォーム内のデータ編集が可能になります。

②入力フォーム

直接書き換えることができます。

記述方法等については P.47～をご覧ください。

③リセットボタン

クリックすると、これまでの編集がキャンセルされ、入力フォーム内のデータがタブを開いた時点のデータに書き換えられます。

④データのインポート

クリックすると、現在の入力フォームの状態がデータが送信されます。

「IP アドレスをリセットする」チェックボックスについて

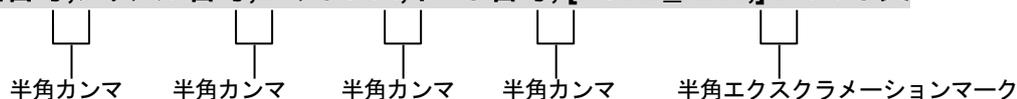
- ・動的 IP の場合は、CSV データ登録時、「IP アドレスをリセットする」をチェックしたうえでインポートしてください。
- ・チェックすると、全端末の IP アドレスが「AUTO」に書き換わり、一時的に、LANdeVOICE 端末情報タブでは「切断」表示に、端末状態確認タブでは「異常」表示になります。各 LANdeVOICE 端末からステータス通知が届くと IP アドレスが再取得され、表示が切り替わります。  
※この場合、「切断」「異常」と表示されていても、実際に全端末がネットワークから切断されているわけではありません。  
※各端末からステータス通知が届くまでの時間は端末ごとの ALIVETIMER の設定によります。全端末 3 分に設定することを推奨します。

インポート結果について

- ・「インポートに成功しました。」というメッセージが表示されると、データ反映完了です。その際、反映結果が入力フォームに表示されます。
- ・入力した内容が不適切な場合、「エラー: CSV に誤りがあります。」という表示とともに不適切な箇所が指摘され、再編集を行うことができます。この場合、データ送信は行われません。  
再編集後、再度「インポート」ボタンにてデータ送信を行うことができます。また、入力フォーム下部に表示された「入力した値にリセット」ボタンをクリックすると、再編集がキャンセルされ、前回のインポート実行時のデータに書き換えられます。

<記述方法>

電話番号,シリアル番号,IP アドレス,ポート番号, [PORT\_ANY,] !コメント文



<編集ルール>

- コメント文以外は必ず 1 行で記述してください。
- コメント文以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は 1 文字分のスペースだけが残ります。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。  
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。
- 代表電話番号機能で複数台一斉呼出(PLUR\_SETUP)を利用する場合は、最大 50 グループ、1 グループ最大 10 件登録できます。
- CPS8 の phone.tbl をそのままコピー&ペーストすることができます(P.59 参照)。



メモ CSV 登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	発信先 LANdeVOICE 端末の電話番号 ※記述必須項目  " NULL ": 未登録	23 桁までの電話番号 0~9  その他 "[ ]", "<>" 等端末の phone.ini に設定可能な記号
シリアル番号	発信先 LANdeVOICE 端末のシリアル番号 ※シリアル番号は製品底面に記載  0: 固定 IP	0 シリアル番号
IP アドレス	発信先 LANdeVOICE 端末の IP アドレス 固定 IP 時: IP アドレスを記述 動的 IP 時: AUTO  AUTO: IP アドレスを再取得 ※端末からのステータス通知が行われた時点で、端末の現在の IP アドレスに書き換わる	IPv4 アドレス AUTO
ポート番号	発信先 LANdeVOICE 端末のポート番号 (syscnfg.ini の CCH) ※デフォルト値 1 回線目:4445 2 回線目:4446	ポート番号
PORT_ANY	記述すると動的ポート番号になる  ※動的 IP 時のみ設定可。端末のステータス通知の際に CCH の値を自動的にポート番号欄に反映。1 回線目しか通知されないため、2 回線使用する場合は本項目は記述しない (固定ポート番号にする)。	PORT_ANY
コメント	半角文字の「!」以降の文字は設定に影響しない コメント文と見なされる	半角文字、全角文字



メモ シリアル番号と IP アドレスについて

シリアル番号を記述すると動的 IP 扱いになり、シリアル番号で管理されます。この時に IP アドレスを記述すると端末管理システムはその IP アドレスに通信をしにいきますが、端末からのステータス通知が来ると現在の IP アドレスに更新されます。

AUTO を記述すると端末管理システムは端末からステータス通知が来るのを待ちます。端末からのステータス通知後は端末の現在の IP アドレスが表示されます。

<CSV 入力フォーム記述例>

100 , 0 , 192.168.1.10 , 4445 ,	!①
200 , 0 , 192.168.1.10 , 4446 ,	!②
300 , 0 , 192.168.1.20 , 5555 ,	!③
400 , 0 , 192.168.1.20 , 5556 ,	!④
400 , 0 , 192.168.1.30 , 6665 ,	!⑤

■解説

- ①・・・IP アドレス 192.168.1.10 の端末の ch.1 (CCH:4445)  
LANdeVOICE 端末から 100 をダイヤルされた場合に着信させる宛先  
※CCH にしたがい、固定ポート番号 4445 を記述します。
- ②・・・IP アドレス 192.168.1.10 の端末の ch.2 (CCH:4446)  
LANdeVOICE 端末から 200 をダイヤルされた場合に着信させる宛先  
※CCH にしたがい、固定ポート番号 4446 を記述します。
- ③・・・IP アドレス 192.168.1.20 の端末の ch.1 (CCH:5555)  
LANdeVOICE 端末から 300 をダイヤルされた場合に着信させる宛先  
※CCH にしたがい、固定ポート番号 5555 を記述します。
- ④・・・IP アドレス 192.168.1.20 の端末の ch.2 (CCH:5556)  
LANdeVOICE 端末から 400 をダイヤルされた場合に主に着信させる宛先  
※CCH にしたがい、固定ポート番号 5556 を記述します。
- ⑤・・・IP アドレス 192.168.1.30 の端末の ch.1 (CCH:6665)  
LANdeVOICE 端末から 400 をダイヤルされた際に場合によっては着信させる宛先  
◇syscnfg.ini のパラメータ「CIRT」の値が ON に設定されていると、1 回目の発信では  
④→⑤の順番で着信させ、2 回目の発信では⑤→④の順番で着信させます。  
「PLUR\_SETUP」の値が 400 に設定されていると、④⑤両方に一斉に着信させます。  
(P.33、65 参照)

---

## 第7章 運用例

---

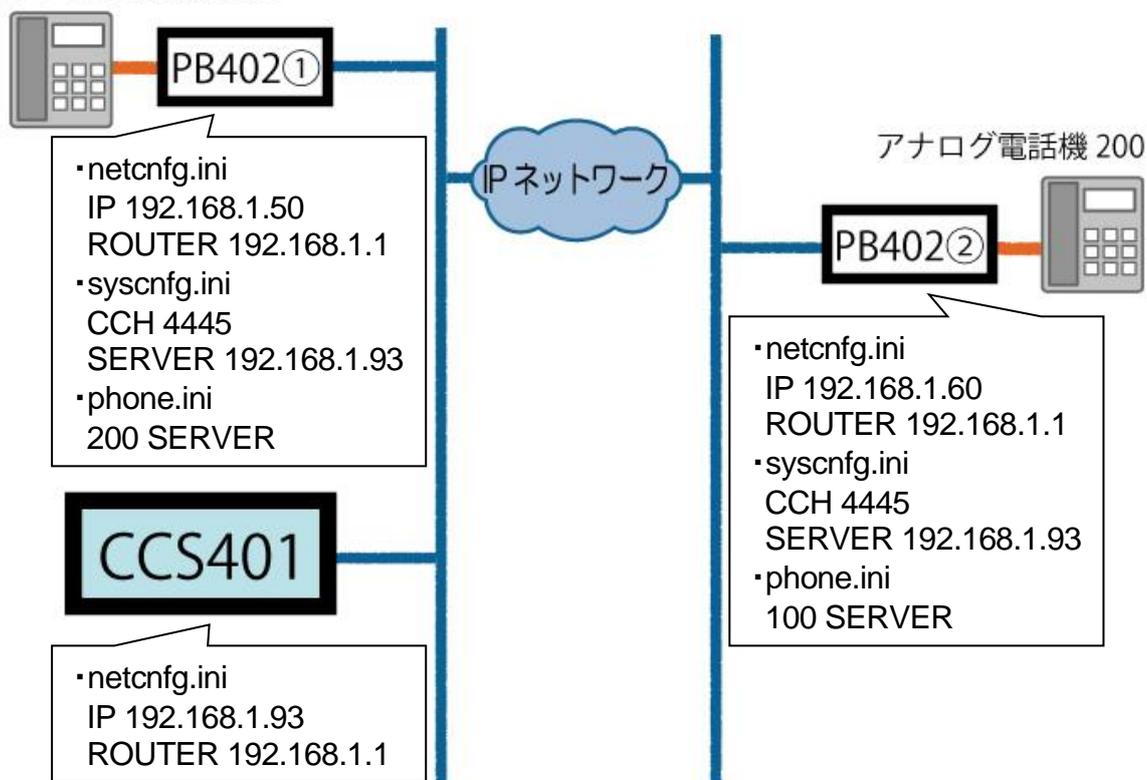
実際に CCS401 の運用を試してみましょう。

- 基本的な運用
- 代表電話番号機能

## 基本的な運用

下記の運用を試してみます。

アナログ電話機 100



- 1 アナログ電話機を接続します。**  
PB402①②のch.1 にそれぞれアナログ電話機を接続します。
- 2 LANdeVOICE端末を設定します。**  
PB402①②に上図の設定をします。
- 3 CCS401 のnetcnfg.iniを設定します。**  
CCS401 のnetcnfg.inilに上図の設定をします。

#### 4 CCS401 の端末管理システムを設定します。

※P.39 の端末情報登録画面からも登録可能ですが、今回はCSVで登録します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100 , 0 , 192.168.1.50 , 4445 ,	!PB402① ch.1
200 , 0 , 192.168.1.60 , 4445 ,	!PB402② ch.1

「インポート」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報」タブを見ると、下記のような画面になっています。

The screenshot shows the 'LANdeVOICE端末情報' (LANdeVOICE Terminal Information) tab selected. Below the search bar, there are two checkboxes: '動的ポート番号' (Dynamic Port Number) and '端末情報変更日時' (Terminal Information Change Date/Time). A table displays search results for two entries:

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.50	4445	PB402① ch.1
2	200	0	192.168.1.60	4445	PB402② ch.1

At the bottom of the page, there is a footer: '端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.'

#### 5 通話を試します。

1. PB402①の電話機をオフフックし、200番をダイヤルします。
2. CCS401 経由で発信先PB402の電話機に着信します。
3. PB402②の電話機をオフフックし、通話をします。
4. PB402①②の電話機をオンフックします。
5. 今度はPB402②から100番をダイヤルし、PB402①と通話します。

## 6 メンテナンスをします。

端末情報の追加を行います。

端末 300 番を追加登録します。

「LANdeVOICE端末情報」タブの「登録」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報登録」画面が開くので、以下の登録を行います。

- ・電話番号： 300
- ・IPアドレス： 固定IP / 192.168.1.70
- ・ポート番号： 固定ポート番号 / 4445
- ・コメント： PB402③ ch.1

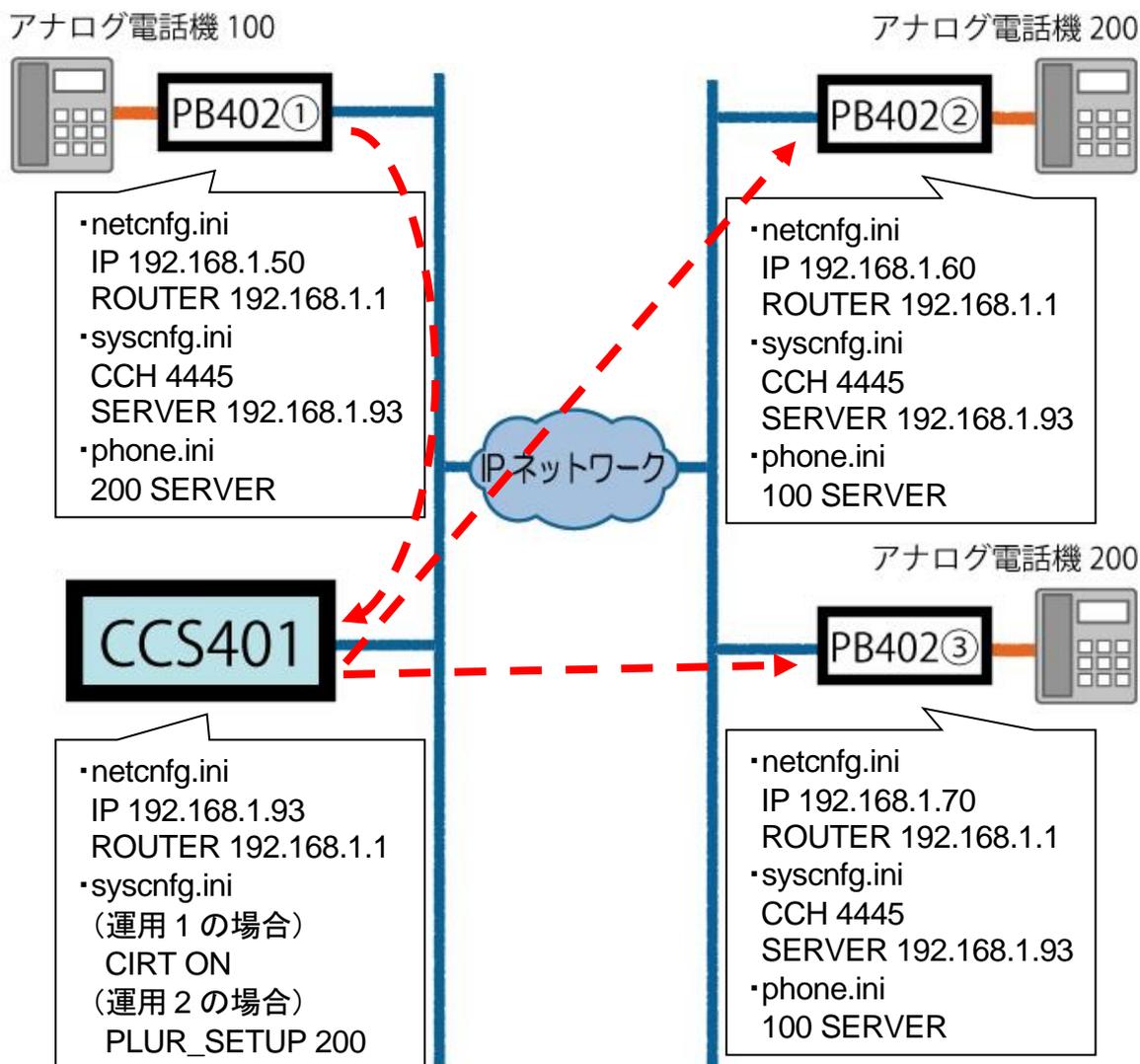
「一覧」に戻ると下記のような画面になっています。

The screenshot shows the 'LANdeVOICE端末情報' (LANdeVOICE Terminal Information) management interface. It includes a search bar with '電話番号' (Phone Number) selected as the search target and a search button. Below the search bar, it displays '検索結果 表示件数: 3件中 1-3件' (Search Results: 1-3 items of 3 items). A table lists the search results with columns for '電話番号' (Phone Number), 'シリアル番号' (Serial Number), 'IPアドレス' (IP Address), 'ポート番号' (Port Number), and 'コメント' (Comment). Each row has a '変更' (Change) button. At the bottom, there are pagination controls showing '1' of 1 page.

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.50	4445	PB402① ch.1
2	200	0	192.168.1.60	4445	PB402② ch.1
3	300	0	192.168.1.70	4445	PB402③ ch.1

## 代表電話番号機能

下記の運用を試してみます。



**運用 1:** PB402②③の電話機に代表電話番号を設定し、PB402①の電話機から交互に呼出

**運用 2:** PB402①の電話機からPB402②③の電話機を一斉呼出

- 1 アナログ電話機を接続します。**  
PB402①②③のch.1 にそれぞれアナログ電話機を接続します。
- 2 LANdeVOICE端末を設定します。**  
PB402①②③に上図の設定をします。
- 3 CCS401 のnetcnfg.iniを設定します。**  
CCS401 のnetcnfg.iniに上図の設定をします。

#### 4 CCS401 の端末管理システムを設定します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100 , 0 , 192.168.1.50 , 4445 ,	!PB402① ch.1
200 , 0 , 192.168.1.60 , 4445 ,	!PB402② ch.1
200 , 0 , 192.168.1.70 , 4445 ,	!PB402③ ch.1

「インポート」ボタンをクリックします。

#### 5 CCS401 のsyscnfg.iniを設定します。

運用 1 の場合

CIRT ON

運用 2 の場合

PLUR\_SETUP 200

#### 6 発信を試します。

運用 1 の場合

1. PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
2. PB402②の電話機に着信します(②の電話機が使用中の場合③に着信)。
3. PB402②の電話機をオフフックし、通話をした後、オンフックします。
4. 再度PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
5. PB402③の電話機に着信します。

運用 2 の場合

1. PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
2. PB402②③の電話機に一斉に着信します。
3. ②③のどちらか一方をオフフックすると、もう一方の呼出が止まります。

## 第8章 製品仕様

CCS401 の製品仕様です。

製品名	LANdeVOICE CCS401	
型番	LdV4-CCS401	
LANポート	1 ポート (RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX) ・ MDI/MDI-X結線自動切替 ・ IPv4 (DHCPクライアント機能非サポート) ・ IPv6 非対応	
最大登録電話番号数	800 件	
最大同時通話数	200 通話	
状態表示ランプ	前面 : 3 (STATUS、CCH、TCH)	
呼制御プロトコル	LANdeVOICE方式 (独自プロトコル : IPv4+UDP)	
設定方法	ネットワーク上に接続されたPC等のWebブラウザからの操作 (設定画面)、Webブラウザからのファイル転送	
筐体	プラスチック筐体	
動作環境温度の目安 (無風状態の周囲 気温)	単独平置の場合 : 0°C~50°C 平置段積の場合 : 0°C~40°C  ※平置段積の場合には正規オプション品 (固定金具キット) を使用し、4 段重ねた場合の目安	注) いずれも本体のみに ついての動作環境温度
電源	ACアダプタ給電	
消費電力	最大 : 9.0W 代表値 : 1.7W (待機時)、1.8W (呼制御時)	

環境対応	<p>欧州RoHS指令準拠          ※弊社独自の化学分析は行っていませんが、本指令に準拠した部材のみを製品に使用しています。</p>
外形寸法	199(W)×126(D)×31.5(H) mm (突起物含まず)
質量	本体約 0.30kg
付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ACアダプタ (1.5m) × 1</li> <li>  スイッチング電源方式</li> <li>    入力 : AC100~240V (50/60Hz)</li> <li>    出力 : DC 9V、1A</li> <li>    対応環境温度 : 0°C~40°C</li> <li>・ LANケーブル (ストレート、3m) × 1</li> <li>・ 取扱説明書 × 1</li> <li>・ 保証書 (取扱説明書内記載) × 1</li> <li>・ シリアルシール × 1</li> </ul>
デフォルトIPアドレス	192.168.1.24
保証期間	購入後 1 年間
オプション品	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 50°C対応ACアダプタ</li> <li>・ LANdeVOICE4 固定金具キット</li> </ul>

---

# 付録

---

- 付録 1 CPS8 からリプレイスする場合について
- 付録 2 便利な電話番号登録と記述方法
- 付録 3 ファイル送信による設定について
- 付録 4 syscnfg.iniのパラメータ「CIRT」の動作
- 付録 5 修理について
- 付録 6 パソコンのネットワーク設定について

## 付録 1 CPS8 からリプレースする場合について

CPS8 からリプレースする場合、以下の手順で設定を行います。

- 1 CPS8 の netcnfg.ini、syscnfg.ini をもとに CCS401 の netcnfg.ini、syscnfg.ini を新たに設定します (P.30～参照)。
- 2 CCS401 の 端末管理システム Web 画面にログインし、CSV 入力タブに CPS8 の phone.tbl をコピー & ペーストします。

※CSV入力タブの使用方法、記述方法等については P.45～をご覧ください。

### ■注意事項

各端末の netcnfg.ini または syscnfg.ini のパラメータ「SERVER」に CCS401 の IP アドレスを設定してください。

## 付録 2 便利な電話番号登録と記述方法

<b>① 省略 [ ]</b>	
[ ]で囲まれた番号はダイヤルされた電話番号との一致を比較する際には利用されますが、着信側LANdeVOICEからダイヤルを送出する時(PBXやNTTダイヤルインなど)には省略されます。	
例: [0312]34	発信者が「031234」とダイヤルすると「[ ]」で囲まれた部分が省略されて「34」を着信側のLANdeVOICEから接続されている機器へ送じます。
<b>② 追加 &lt; &gt;</b>	
< >で囲まれた部分は DID通知時に追加されます。電話番号の一致を検索する際には、追加番号の内容は無視されます。	
例: <0>312345678	発信者が「312345678」とダイヤルすると「< >」で囲まれた部分が追加されて、0312345678 を着信側のLANdeVOICEより送じます。
<b>③ 任意の1桁 ?</b>	
?は任意の番号として一致を比較します。	
例: 03123456??	03123456XXとダイヤルされた電話番号は全て該当すると判断します。
例: ???	3桁の任意の番号が一致します。「???」より上部に「??」の記述があると、先に??の2桁に該当して2桁で発信します。この場合は、3??などにすると、3から始まる3桁になります。
<b>④ 任意の桁 /</b>	
/は以降の入力を全て有効にします。	
例: 03/	桁数の一致、「03」までの入力で該当と判断し、以降4秒のタイムアウトまで入力を受け入れます。#(デリミタ)を使うことによりタイムアウトを待たなくても発信させることが可能です。(デリミタはパラメータでON/OFF可能です。) 合計31桁までダイヤル可能。
<b>⑤ ポーズ追加 P</b>	
簡易DID発信等を利用して、接続先のLANdeVOICEからPBXへ発信する場合にダイヤルポーズを追加することが可能です。Pひとつで約1秒のダイヤルポーズを行います。	
例: <0PP>0312345678 (②との併用例)	0312345678 とダイヤルすると、先頭に「0PP」を追加して接続先のLANdeVOICEへ通知します。DID通知では0をダイヤルした後に2秒間ポーズし、残りの番号をダイヤルします
<b>⑥ 特定番号発信規制 NOP</b>	
特定の電話番号を発信不可能にします。このとき特定の電話番号は省略記号[ ]で囲む必要があります。	
例: [100] NOP	100 とダイヤルをしても発信されず、タイムアウト後BTとなります。
<b>⑦ 上記①～⑤の機能は複合させることも可能です。</b>	
[031234]/	031234 で確定し、残りの入力をDID通知します。
031234[5]<6>7??	03123457XXの下4桁を「67XX」に変更してDID通知します。

## 付録3 ファイル送信による設定について

各種設定ファイルの設定は、設定画面の各設定欄で直接書き換える方法だけでなく、あらかじめ作成しておいた設定ファイルをメニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」(P.26 参照)にてWeb上へ送信(アップロード)する方法でも行うことができます。

この方法は全種類の設定ファイルに適用可能です。

ファイル送信による設定の手順は以下の通りです。

### 1 以下の形式でファイルを作成します。

【ファイル名と拡張子】

基本設定ファイル:「netcnfg.ini」

システム設定ファイル:「syscnfg.ini」

【ファイル形式】

テキスト形式(「メモ帳」等のテキストエディタで作成してください)

※作成後に上記ファイル名と拡張子に変更してください。

※ファイル内のパラメータの記述方法については

「第5章 設定ファイル一覧」を参照してください。

### 2 作成したファイルを送信します。

メニュー「ファイル送信／バックアップファイルの復元」にて、作成した各種設定ファイルをそれぞれ参照し、送信ボタンを押します。

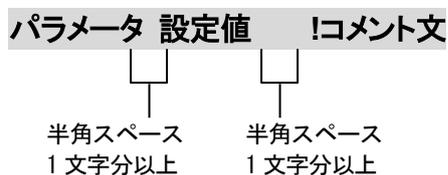
### 3 再起動ボタンを押し、正常に起動するまで待ちます。

※再起動中は絶対に電源を切らないでください。

## ■記述方法と編集ルール

基本設定ファイル(netcnfg.ini)の記述方法と編集ルールは以下の通りです。  
※システム設定ファイル(syscnfg.ini)については設定画面と同様です。

### <記述方法>



### <編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず1行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。  
「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字及び半角文字が使用可能です。  
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

## ■基本設定ファイル(netcnfg.ini)に設定可能なパラメータ

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
IP  (IPアドレス/ ネットマスク)	CCS401 のIPアドレスとネットマスクを設定します。  ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ネットマスク: 「/」(スラッシュ)の後に ネットマスク(ビット数)を 記述してください。  (記述例 IP 192.168.1.24/24)	固定IPアドレス ネットマスク  (IPv4 のみ)	192.168.1.24/24
ROUTER  (デフォルト ゲートウェイ)	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。  ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 ・設定を削除する場合はパラメータ名のみ 残し値を削除してください。  (記述例 ROUTER 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
TERM_NAME  (端末名)	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます)  ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可)  (記述例 TERM_NAME abc-123)  無記述時は機種名が表示されます。	最大 20 文字 半角英数字 “ - ”(ハイフン) “ . ”(ピリオド)	機種名が表示されます
HTTPD_PORT  (HTTPポート 番号)	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。  セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定してください。  (記述例 HTTPD_PORT 8084)	0~65535	8084

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
NTP_SERVER  (NTPサーバ IPアドレス)	時刻同期に使用するNTPサーバのIPアドレス を設定します。  NTP_TIMERの設定も必要です。 ※ドメイン名での設定はできません。  (関連パラメータ: NTP_TIMER) (記述例 NTP_SERVER 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4のみ)	未設定
NTP_TIMER  (NTPサーバ 同期間隔)	時刻同期を行う間隔を設定します。  本パラメータ未設定時はNTPによる時刻同期 を行いません。  (関連パラメータ: NTP_SERVER) (記述例 NTP_TIMER 24)	1~24 単位:時間	未設定

## 付録4 syscnfg.iniのパラメータ「CIRT」の動作

CIRTの動作は、CSV入力タブの入力フォームに記述されている順番を基準とします。

CIRTに関する入力フォームの記述例とそれに対する動作は以下の通りです。

### ■入力フォーム記述例

100,0,192.168.1.10,4445,CHK\_SID, !端末①

100,0,192.168.1.20,4445,CHK\_SID, !端末②

100,0,192.168.1.30,4445,CHK\_SID, !端末③

### ■上記記述で100番が呼び出された場合のCIRT各設定値の動作

ON: 1回目…①から着信

2回目…②から着信

3回目…③から着信

OFF: 何回呼び出されても①から着信

※入力フォームの順番は登録順になっています。順番を変更したい場合は直接書き換えてください。入力フォームで順番を変更しても、LANdeVOICE 端末情報タブや端末状態確認タブの表示順は変更されません。

## 付録5 修理について

修理の前に、設定や構成を見直すことで問題が解決する場合がございます。

今一度、設定を見直して頂き、解決できない場合にはお買い求め頂いた代理店・販売店へご連絡ください。

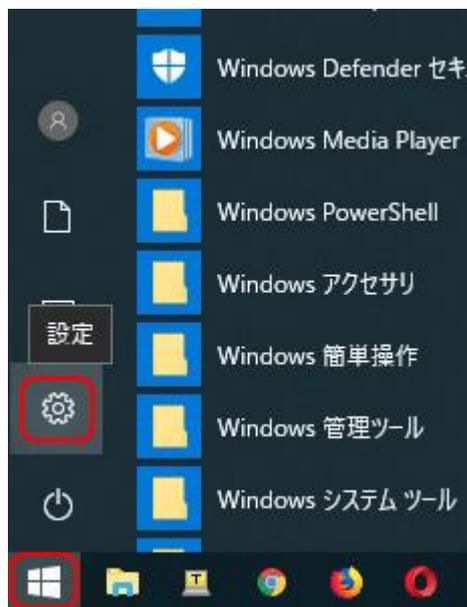
修理については弊社Webサイトをご参照ください。

<https://www.a-2.co.jp/top/repair.html>

## 付録6 パソコンのネットワーク設定について

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。  
設定方法はOSによって異なりますが、ここでは弊社で動作確認したWindows 10  
について記載します。

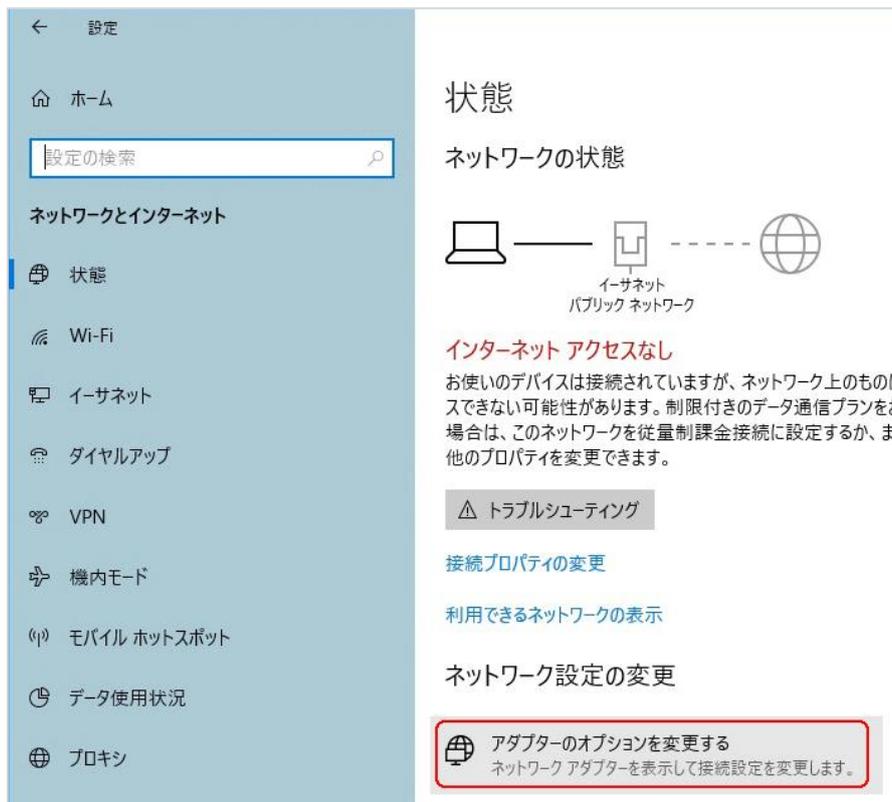
1. 「スタート(窓マーク)」→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「Windows の設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3. 「ネットワークとインターネット」の「状態」が開くので、「アダプターのオプションを変更する」をクリックしてください。



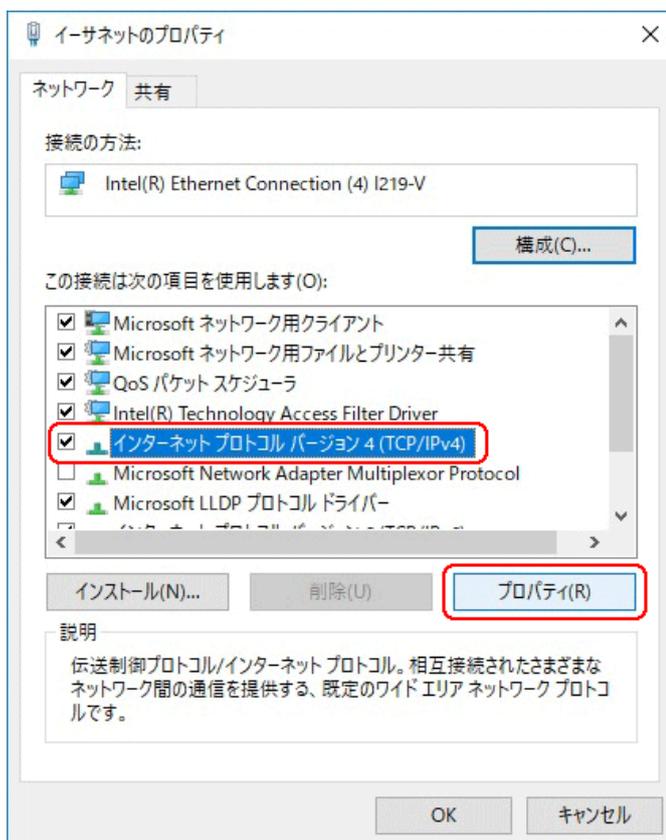
4. 「イーサネット」をダブルクリックしてください。



5. 「イーサネットの状態」ウィンドウが表示されるので、「プロパティ(P)」をクリックしてください。



6. 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。





### 注意 現在のパソコンの設定を控えておいてください

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいてください。

7. 「インターネット プロトкол バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「次の IP アドレスを使う(S)」と「次の DNS サーバのアドレスを使う(E)」をクリックして以下の値を入力してください。  
デフォルトゲートウェイ、DNS サーバについての値は必要ありません。  
入力したら「OK」をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし

インターネット プロトкол バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 100

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

DNS サーバのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバ-(P): . . .

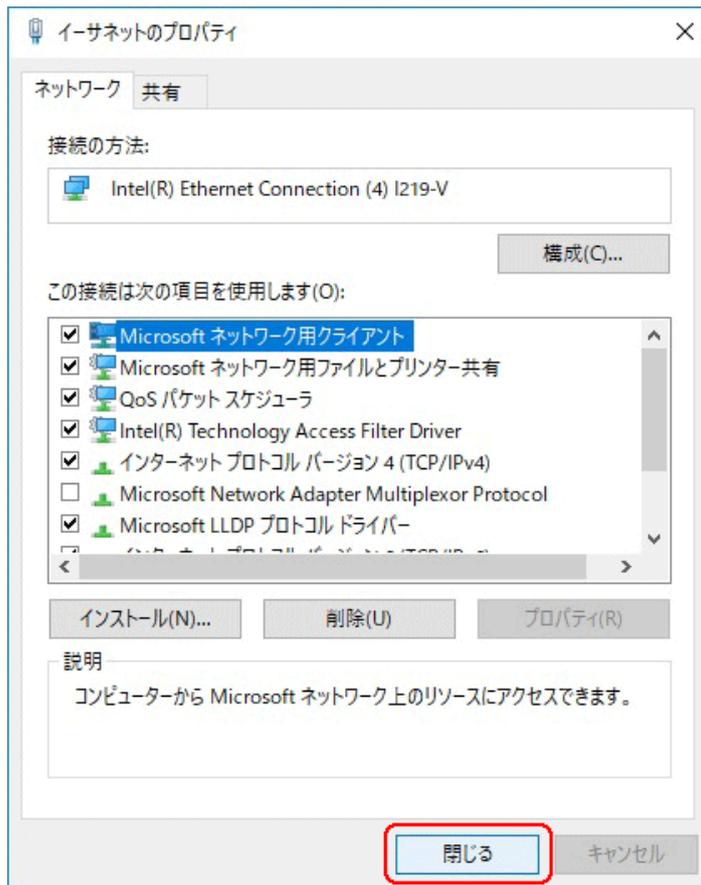
代替 DNS サーバ-(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

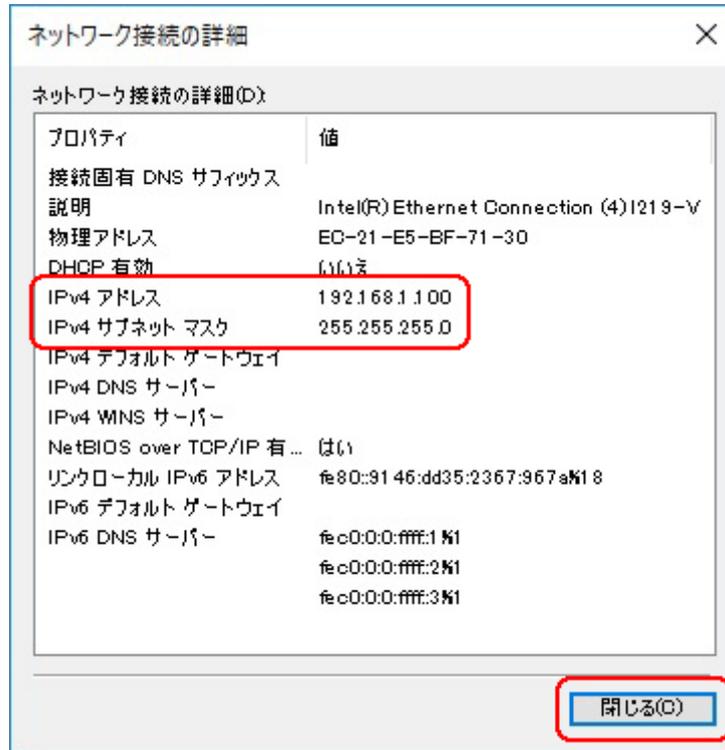
8. 「閉じる」を押して「イーサネットのプロパティ」を閉じます。



9. 【確認】「イーサネットの状態」ウィンドウの「詳細(E)」をクリックします。  
「イーサネットの状態」ウィンドウを閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→「設定」…とアクセスしてってください。



10. 「ネットワーク接続の状態」ウィンドウが開くので、IPv4 アドレスが「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていることを確認します。  
「閉じる」ボタンをクリックします。





# 保証書

この製品は、厳密な検査に合格したものです。  
お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- 故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- 保証期間内で修理する製品を発送する際、必ず保証書をそえてご依頼ください。本保証書は、製品名、お引渡し日及び販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

## 保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。
- 修理はセンドバック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツー及び販売店は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。
  - 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
  - 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等
- 本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
  1. 取扱い上の誤りによる故障及び損傷
  2. お客様にて改造・修理をされている場合
  3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほかの衝撃による故障及び損傷
  4. 間違えて接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）の故障及び損傷
  5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
  6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障及び損傷
  7. 日本国外で発生した損害
  8. お引渡し日及び販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
  9. 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合
- 本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合のみにて有効なものとします（This warranty is valid only in Japan.）
- 本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

製品名	LANdeVOICE CCS401
保証期間	お引渡し日 年 月 日より1年間

販売店記入欄	販売店名	
	販売店住所	TEL ( )

株式会社エイツー  
〒142-0041  
東京都品川区戸越1-7-1 7F  
URL: <https://www.a-2.co.jp>

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

### 株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <https://www.a-2.co.jp/LANdeVOICE/>

E-mail : LANdeVOICE@a-2.co.jp

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30~12:00 13:00~17:00 <土日、年末年始、祝日を除く>

### <お問い合わせ先>

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

#### ●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で利用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

#### ●必要事項

- ・製品名 (Model)
- ・シリアル番号 (SN)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・接続構成
- ・お問い合わせ内容 (症状や状況、使用されているネットワーク機器等を詳細に)